

事業所名	アンディとTiara（放課後等デイサービス）	支援プログラム	作成日	2024年	10月	1日				
法人（事業所）理念	<p>私たちは、子どもたちが 自然の中で自由に体を動かし、心と身体の健やかな成長を実感できる環境を提供します。外遊びや運動を通じて、楽しみながら挑戦する力、協調性、自信を育むことを大切にし、一人ひとりの可能性を最大限に引き出します。</p> <p>また、放課後等デイサービスとして、発達の5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）を意識した支援を行い、子どもたちが自らの力で未来を切り開けるようサポートします。地域の皆さまとともに、子どもたちが安心して過ごし、成長できる居場所をつくるのが私たちの使命です。</p>									
支援方針	<p>1. 遊びや運動を通じて、体力・運動能力・挑戦する気持ちを育みます。</p> <p>2. 運動の中で、社会性・思考力・自己表現の機会を増やし、バランスよく成長を促します。</p> <p>3. 子どもの特性やペースを尊重し、成功体験を重ねることで自信を育てます。</p> <p>4. 自然の中でのびのびと活動できるよう、安全管理を徹底し、信頼関係を大切にします。</p> <p>5. 家庭や学校と協力し、子どもたちの未来を地域全体で支えます。</p> <p>「楽しく体を動かしながら、生きる力を育む」 を目標に、日々の支援に取り組みます。</p>									
営業時間	9時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<p>〈健康の観点〉 運動を通じて、子どもたちの体力向上・運動機能の発達を促し、健康的な生活習慣を身につけることを目指します。外遊びやスポーツを取り入れ、楽しみながらバランス感覚や持久力、筋力を育むことで、健やかな成長を支えます。</p> <p>〈生活の観点〉 運動の中でルールやマナーを学び、社会性や自立心を育てることを大切にしています。チームスポーツや役割分担のある活動を通じて、順番を守る・協力する・責任を持つといった日常生活に必要な力を自然に身につけられるよう支援します。</p> <p>外でのびのびと体を動かしながら、健康的な身体と豊かな生活力を育むことを目標に、子どもたちが自信を持って成長できる環境を提供します。</p>								
	運動・感覚	<p>〈運動の観点〉 運動遊びを通じて、筋力・持久力・バランス感覚・俊敏性などの身体機能を高め、子どもたちが楽しみながら自分の体をコントロールできる力を育てます。外でのびのびと走ったり、ジャンプしたりすることで、基礎体力の向上を図ります。</p> <p>〈感覚の観点〉 自然の中での遊びを通じて、触覚・前庭感覚・固有受容覚を刺激し、身体の使い方を学ぶ機会を提供します。砂や芝生の感触を楽しみながら歩く、アスレチックなどの活動を通して、身体の位置や動きを感じる力を養い、姿勢や運動のコントロールを向上させます。</p> <p>外での運動を通じて、楽しみながら身体感覚を育み、スムーズな動きや姿勢を身につけることを目標に、子どもたちが自信を持って活動できる環境を提供します。</p>								
	認知・行動	<p>〈認知の観点〉 運動遊びの中で、状況判断・問題解決・計画力を養います。例えば、鬼ごっこでは相手の動きを予測しながら逃げる戦略を考え、障害物競走ではルートを選択し、身体の使い方を調整することが求められます。こうした経験をを通じて、空間認識力や思考力を自然に伸ばしていきます。</p> <p>〈行動の観点〉 運動の中でルールを守る・順番を待つ・協力するといった行動スキルを身につけます。チームスポーツや集団遊びでは、自分の役割を理解し、仲間とコミュニケーションを取りながら行動する力が育まれます。また、挑戦する機会を増やし、小さな成功体験を積み重ねることで、自信や粘り強さを養います。</p> <p>外での運動を通じて、考える力と適切に行動する力を身につけ、子どもたちが自ら考え、主体的に行動できるよう支援していきます。</p>								
	言語 コミュニケーション	<p>〈言語の観点〉 運動や遊びの中で、ルールを理解し、言葉で伝える力を育てます。例えば、鬼ごっこでは「タッチ！」と声に出して相手に伝えたり、チームスポーツでは作戦を話し合うことで表現力や語彙力を伸ばします。また、活動後に「どんなことが楽しかった？」と振り返る時間を設け、自分の気持ちを言葉にする練習をします。</p> <p>〈コミュニケーションの観点〉 運動遊びの中で、仲間と協力し、円滑に関わる力を身につけます。チームプレーでは「パスして！」「ナイス！」と声をかけ合いながら、相手の気持ちを考えたり、自分の思いを伝えたりする経験を積みみます。また、順番を決めたりルールを話し合ったりすることで、相手の意見を聞き、折り合いをつける力も育みます。</p> <p>外でのびのびと体を動かしながら、言葉で伝える力や仲間と協力する力を育て、子どもたちが自信を持ってコミュニケーションをとれるよう支援していきます。</p>								
	人間関係 社会性	<p>〈人間関係の観点〉 運動遊びの中で、友達と関わる機会を増やし、信頼関係を築くことを大切にします。例えば、チームスポーツでは「協力してゴールを決める」「助け合う」経験をを通じて、仲間との絆や思いやりの気持ちを育みます。また、遊びの中で自然と「ありがとう」「ごめんね」と伝え合う場面をつくり、円滑な人間関係を築く力を養います。</p> <p>〈社会性の観点〉 運動を通じて、ルールを守ることや順番を待つことの大切さを学びます。例えば、鬼ごっこでは「タッチされたら交代する」、リレーでは「バトンをつなぐ」など、ルールを理解し、みんなで楽しむための行動を身につけます。また、勝負のある遊びの中で「悔しい気持ちを整理する」「相手を称える」といった経験をを通じて、社会に必要な協調性や適応力を育みます。</p> <p>外での運動を通じて、友達と楽しく関わりながら、協力する力やルールを守る力を身につけ、社会の中で自信を持って生きていけるよう支援していきます。</p>								

<p>家族支援</p>	<p>お子さまがのびのびと成長できる環境を提供するとともに、ご家族の皆さまが安心して子育てに向き合えるよう支援を行ってまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お子さまの成長を共に支えるサポート 日々の活動を通じて、お子さまの発達状況や得意なこと・苦手なことを共有し、ご家庭での関わり方についてアドバイスを行います。定期的な面談や連絡帳を活用し、保護者の方々と連携を深めながら、最適な支援を考えていきます。 2. 相談・情報提供の機会の充実 子育てに関する悩みや不安について気軽に相談できるよう、連絡帳などのコミュニケーションツールを活用し、定期的な個別相談の場を設けています。また、障がい福祉サービスや各種支援制度の情報提供を行い、ご家庭が必要とする支援につなげていきます。 3. 家族の負担軽減に向けた取り組み 放課後の時間を活用し、お子さまが楽しく安全に過ごせる場を提供することで、保護者の皆さまの時間的・精神的負担を軽減します。ご家庭でのケアがよりスムーズになるよう、日常生活のサポート方法についても一緒に考えていきます。 <p>当事業所は、お子さまだけでなくご家族の皆さまも安心して過ごせるような支援を心がけております。</p>	<p>移行支援</p>	<p>お子さまが次のライフステージへスムーズに移行できるよう、発達段階に応じた具体的な支援を行っています。様々な活動を通じて、将来の生活に必要なスキルや経験を積み、自信を持って成長できるようサポートします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフステージの切り替えを見据えた取り組み ・日々の活動の中で、遊びや学習内容を自分で選ぶ機会を設け、自分の意志を表現する・決定する力を育てます。 ・学校の先生や支援員と情報共有を行い、お子さまの特性や進路に合った支援を一貫して提供します。 2. 事業所以外での生活や育ちの場の充実に向けた取り組み ・公園や児童館での遊びを通じて、集団行動やルールを学び、体力向上とともに社会性を養います。 ・買い物体験や調理活動を通じて、お金の管理や食事の準備など、自立に必要なスキルを身につけます。 3. 将来の自立に向けたスキル習得の支援 ・服のたたみ方やカバンof整理など、日常生活の中で役立つスキルを練習します。 ・集団での遊びや季節ごとのイベントを通じて、友達や大人との適切な関わり方を学びます。 <p>当事業所では、お子さまが安心して成長し、地域の中で自分らしく生きられるよう、具体的な体験を通じた支援を提供しています。ご家族や関係機関と連携しながら、長期的な視点でサポートを続けてまいります。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>お子さまが地域の中でのびのびと成長し、社会の一員として安心して生活できるよう、地域支援や地域連携を積極的に進めています。地域の人々とのつながりを大切にしながら、お子さまが実際に社会と関わる経験を積み、将来の自立につなげることを目的としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の方々との交流の機会づくり ・地域の公園や運動場を利用し、体を動かしながら自然と地域住民と触れ合う機会をつくります。 2. 地域の資源を活用した体験活動 ・公共施設や児童館を訪れ、施設の利用方法やマナーを学ぶ機会を提供します。 3. 地域の安全と防災に関する取り組み ・地域の自治体などと連携し、地震や火災などの防災訓練に参加し、緊急時の対応力を身につけます。 ・横断歩道の渡り方や公園での遊び方など、安全に外で活動するためのルールを学びます。 <p>当事業所は、地域とのつながりを大切にしながら、お子さまが安心して成長し、社会の中で自分らしく生きていけるよう支援を続けてまいります。地域の方々と関係機関との連携を深め、お子さま一人ひとりにとってより良い環境を整えていきます。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>お子さま一人ひとりに寄り添い、安心して成長できる環境を提供するために、職員の専門性向上とスキルアップに取り組んでいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所内研修の実施 ・発達障がい、運動療法、行動支援、コミュニケーションスキルなど、支援に関するテーマを設け、事業所内での研修を実施します。 ・支援における課題や成功事例を共有し、職員間で意見交換を行いながら、より良い支援方法を学びます。 ・新任職員へのマンツーマン指導や、実際の活動場面を通じた実践的な研修を行い、スムーズに業務を習得できるよう支援します。 2. 他事業所との情報共有・連携 ・近隣の事業所と連携し、成功事例や課題について情報共有を行い、支援の質を高めます。 ・他の事業所を訪問し、支援方法やプログラムの実践を見学し、自事業所の支援に活かします。 ・定期的に他事業所とミーティングを実施し、最新の支援情報や実践事例を共有します。 3. 外部研修・資格取得の推進 ・福祉、療育、運動支援に関する外部研修やセミナーへ職員を派遣し、専門的な知識を深めます。 ・児童発達支援管理責任者、保育士、介護福祉士、スポーツインストラクターなど、業務に関わる資格の取得を奨励し費用補助を行います。 ・外部研修に参加した職員が学んだ内容を事業所内で共有し、支援プログラムに反映させます。 4. 支援の質を向上させる環境づくり ・支援の質を高めるために、定期的に職員同士で振り返りを行い、改善点を共有します。 ・職員が安心して働けるよう、相談窓口の設置や休暇の取得推奨など、働きやすい環境づくりを進めます。 <p>当事業所では、職員のスキルアップを継続的にを行い、最新の知識と実践的な支援を提供できるよう努めています。職員一人ひとりが専門性を高め、お子さまにとって最適な支援を提供できるよう、今後も積極的に取り組んでまいります。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>春の行事 (3月～5月)・・・お花見、入学・進級お祝い会、こどもの日イベント、運動会</p> <p>夏の行事 (6月～8月)・・・水遊び、プール活動、流しそうめん、スイカ割り大会、自由研究、工作活動、昆虫採集</p> <p>秋の行事 (9月～11月)・・・収穫体験、スポーツ大会、ハロウィンパーティー</p> <p>冬の行事 (12月～2月)・・・クリスマス会、雪遊び、そり滑り、書初め、初もうで、節分イベント、バレンタイン、ひなまつり</p> <p>通年行事・特別イベント お誕生日会 (毎月開催) / 避難訓練 (毎月開催) / ゴミゼロ運動 (毎月開催) / クッキング / 買い物体験 など</p> <p>これらの行事を通じて、子どもたちが季節の変化を感じながら成長し、さまざまな経験を積めるようサポートしてまいります。事業所の特色や地域性を活かしながら、より楽しく充実した活動を提供してまいります。</p>		